

【今後の方針】

継続	現行どおり、取組を継続する
充実	取組内容の充実を図る
改善	取組内容の見直し、改善を図る
縮小	取組の規模を縮小する
廃止	取組を廃止する

(1)食を通じて健康な体をつくります

1-1. バランスのとれた規則正しい食生活の実践

項目	概要	担当課	関連する数値目標	R01年度取組実績	今後の方針	左記の判断理由	今後の改善方法、新たな取組内容	連携している市民団体
ア 妊産婦や乳幼児における食育の推進	「早寝・早起き・朝ご飯運動」を推進します。	子ども未来課	①、②	保育園の園だよりなどで、保護者向けに啓発を行った。	継続	年一回園だよりに掲載することで、保護者への啓発を実施しているため。	-	
	・「妊産婦のための食生活指針」等を利用した食育の普及啓発を行います。 ・乳幼児の発達段階に応じた「乳児の食事Q&A」等を利用した食育の普及啓発を行います。	健康推進課	①	・妊婦とその夫を対象にパバママ教室を行いました。 実施回数と参加人数は以下の通り。 R01：11回、127人 ・第1子を持つ保護者を対象に離乳食教室を行いました。実施回数と参加人数は以下の通り。 R01：10回、232人	継続	各種教室で普及啓発ができていたため、今後も継続して実施していく。		食生活改善推進委員会
イ 幼稚園・保育園・児童館等における食育の推進	・各年齢に適した食に関する年間食育計画を策定します。 ・「園だより」「クラスだより」を活用した普及啓発を行います。 ・児童館での、小学生を対象とした調理体験を開催します。	子ども未来課	①	・子どもの年齢に応じた食育計画を策定し、計画に基づいて食育を実施した。 ・保育園の園だよりなどで、保護者に向けて啓発を行った。	継続	食育計画を毎年作成し、計画に基づき食育を実施しているため、今後も継続して実施する。	-	
ウ 学校における食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 授業や給食の時間を中心に教育者による指導を実施します。 委員会等で子どもたち自身による問題把握、啓発活動を実施します。 「保健だより」「給食だより」で児童への啓発、保護者への協力を呼びかけます。 	教育総務課	①	生活科、家庭科、体育、保健、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の授業や給食の時間を中心に、担任や教科担任、あるいは学校栄養教諭による指導を行った。 給食委員により、毎月の給食目標の呼びかけを行った。 栄養教諭による栄養指導 R1年度実績 54時間(小中学校)、給食指導137回(長小)、127回(長中) 放送による献立解説(地場産物、栄養、行事食等)を行った。 養護教諭や給食主任が作成する保健だより、給食だよりでの児童への啓発や保護者への協力の呼びかけを行った。	継続	生活リズムは、家庭環境が大きく影響するため、学校では達成しきれないところがある。家庭での食に関する意識を高めることが必要であり、今後も継続していく。		
		給食センター	①、⑨	家庭配布用献立表の発行(全11回) 学校給食だより「ながくての給食」の発行(全3回)	継続	毎月の献立表や学期ごと発行の学校給食だより「ながくての給食」で、食に関する情報を発信するため。		
	学校と連携して啓発活動を実施します。	平成こども塾	① ⑥ ⑧	小学校の年間指導計画に基づいた授業の一環として、屋外でのカレーライス作りや自然や環境、郷土料理、ものづくりなどを体験するプログラムを行っている。これらの内で、食育に関するプログラムは67回、2,317人が参加した。	継続	小学校の年間指導計画に基づいた授業の一環として位置づけられているため。また、平成こども塾事業の一環としても学校連携事業として、自然や環境、郷土料理、ものづくりなどを体験するプログラムを行っている。		・野外活動同好会 ・Heartの会 ・愛知県創造レクリエーション研究会 ・食生活改善推進委員会
エ 若い世代を中心とした食育の推進	リーフレット等を作成し、食生活の重要性について理解を促進します。	健康推進課	②	・小中学生親子を対象に、朝食づくり講座を実施しました。 R1：1回、参加人数：32人 ・既存のリーフレットを、成人式、39歳以下健診時で配布。	充実	小中学生及び20歳代朝食の欠食率を減らすため。		
オ 高齢期における食育の推進	NPO等と協力し、サロンなどを活用した共食の場を提供します。	長寿課	①	介護予防事業の取組において、共食を含んだプログラムを実施したり、食事を提供するコミュニティカフェ等と連携して事業を行ったりした。	充実	さらに共食の場が増えるようにしていく必要がある。	食事を提供している場とサロン活動の連携が進むようマッチング等を支援していく。	藤が丘つぼハウス和NPO法人つづら
カ 食育ガイドや食事バランスガイドの活用促進	イラストを交えたわかりやすい食育ガイド、食事バランスガイドを、啓発します。	みどりの推進課	①、④	引き続き、市ホームページから食育ガイド、食事バランスガイドを閲覧できるようリンクを掲載した。	継続	市のホームページに掲載することで、食育ガイド、食事バランスガイドを啓発することができているため。		

1-2. 生活習慣病や肥満等の予防

項目	概要	担当課	関連する数値目標	R01年度取組実績	今後の方針	左記の判断理由	今後の改善方法、新たな取組内容	連携している市民団体
ア 健康寿命の延命につながる食育の推進	学校においては、学校医等による学校保健活動の推進を図ります。 ・市民の栄養や運動に関する実態を把握し、肥満防止対策の推進。 ・健康寿命の延伸には適切な食生活だけでなく、自分にあった適度な運動が不可欠なため、食と運動を連携させた施策を実施します。	子ども未来課	①	デイリープログラムの中でリズムあそびや戸外遊びを充実し、積極的に身体を動かす体験を増やす。	継続	保育活動の中で、リズムあそびや戸外遊びなど身体を動かす体験をとおし、児童の健康的な成長を促すことができるため。		
		教育総務課	(該当なし)	学校においては、身体測定結果から成長曲線・肥満度曲線を作成し、学校医に専門医の診察が必要と診断された場合は、受診勧奨を行った。	継続	家庭での食生活については、保護者に対する啓発活動が重要であり、今後も継続していく。		
		健康推進課	①	健康講座として骨密度測定会を実施し、希望者にはその場での食と運動の個別相談も実施した。	継続	すぐに定員いっぱいとなり、需要が見込めるため		

1-3. 食に関する情報の理解と選択

項目	概要	担当課	関連する数値目標	R01年度取組実績	今後の方針	左記の判断理由	今後の改善方法、新たな取組内容	連携している市民団体
ア 食の安全に関する情報提供及び啓発	市の広報誌、パンフレット、ホームページ等を活用し、市民に情報提供を行います。	みどりの推進課	①,⑤	引き続き、市ホームページで関係各課の食育に関する取組を紹介した。	継続	市ホームページで不特定多数の方に情報提供できているため。		
	近年増加する食物アレルギーに対応するため、正しい理解促進を行います。	健康推進課	①	各種乳幼児健診・相談で身体計測、発育状態の評価をし、食物アレルギーを含め、食の安全に関する情報提供及び啓発をしています。実施回数と参加人数は以下の通り。 3~4か月児健診 R01:16回、629人 10~11か月児相談 R01:15回、619人 1歳6か月児健診 R01:16回、661人 3歳児健診 R01:16回、688人	継続	受診対象者が毎回異なるため、各種乳幼児健診・相談で継続して実施していく。		